

令和3年
岩手県教育委員会定例会
5月

岩手県教育委員会

令和3年5月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和3年5月17日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 事務報告1 県立博物館及び県立美術館の取組について (生涯学習文化財課)

第3 事務報告2 県立野外活動センターの開所に向けた準備状況等について (生涯学習文化財課)

閉会

県立博物館及び県立美術館の取組について

県立博物館及び県立美術館において、令和3年度に周年企画展等の実施を予定していますので、報告します。

1 県立博物館の周年企画展

(1) 開館時期

昭和55年10月（開館後41年）

(2) 周年企画展内容

（昨年度40周年企画展を実施予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し今年度実施）

開館40周年記念特別展

みる！しる！わかる！三陸再発見

【開催日】令和3年6月12日（土）～令和3年8月22日（日）

【場 所】岩手県立博物館

【概 要】三陸地方の暮らしや文化とそれらを育んだ自然について、まだ広く知られていない部分にも光を当て、三陸の多様かつ奥深い魅力を示す展覧会です。あわせて、東日本大震災から10年が経過し、月日とともに薄れがちな防災・減災意識を再び高める機会とします。



2 県立美術館の周年企画展

(1) 開館時期

平成13年10月（開館後20年）

(2) 周年企画展内容

開館20周年記念

菅木志雄展 <もの>の存在と<場>の永遠

【開催日】令和3年12月18日（土）～令和4年2月20日（日）

【場 所】岩手県立美術館

【概 要】盛岡市出身で日本現代美術を代表する作家、菅木志雄。半世紀以上に渡る彼の仕事を、様々な手法の作品約100点により通覧します。



《散立》岩手県立美術館蔵

3 各館の新型コロナウイルス感染拡大防止への対応状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来館者へ以下の取組へのご協力をお願いしています。

手洗い・マスク着用のお願、入り口での手指の消毒、受付での体調の確認、受付でのサーモグラフィによる体温確認、展示室内の空気環境の維持、展示室等の入場制限 等

企画展・テーマ展

展示室

2021年	4月		<p>テーマ展 「縄文岩手の環状列石」 3月23日(火)～5月9日(日) 縄文時代後期の初めから晩期(今から3,000～4,000年前)に北海道や北東北各地につくられた謎の多い環状列石。太平洋岸で初めてその存在が確かめられた洋野町西平内I遺跡の調査結果を中心に、石にまつわる岩手の縄文遺跡を紹介します。</p>
	5月		
	6月		<p>開館40周年記念特別展 「みる！しる！わかる！三陸再発見」 三陸地方の暮らしや文化とそれらを育んだ自然について、まだ広く知られていない部分にも光を当て、三陸の多様かつ奥深い魅力を示す展覧会です。あわせて、東日本大震災から10年が経過し、月日とともに薄れがちな防災・減災意識を再び高める機会とします。</p>
	7月		
	8月		<p>【特別展】 6月12日(土)～8月22日(日) 岩手県立博物館 特別展示室・いわて文化史展示室</p>
	9月		
	10月		<p>【移動展】 9月25日(土)～10月24日(日) 岩手県立水産科学館 特別展示室</p>
	11月		
	12月		<p>テーマ展「教科書と違う岩手の歴史 —岩手の弥生～古墳時代— 11月23日(火・祝)～2022年2月6日(日) 弥生～古墳時代、稲作や金属器など最先端の技術が朝鮮半島から伝わることによって、日本は文明化の道を歩み始めました。しかし、朝鮮半島から遠く、ヤマセが吹いて稲作に向かない岩手の地は不利で、おまけに地球規模の寒冷化が始まりました。教科書と違う岩手の歴史を紹介します。</p>
2022年	1月		
	2月		
	3月		<p>テーマ展「金田一家収蔵資料展 —金田一勝定を中心に— 3月19日(土)～5月5日(木) 金田一家は金田一京助の伯父であり盛岡銀行(現在の岩手銀行赤レンガ館)、岩手軽便鉄道などの創業に関わった金田一勝定を輩出した名家です。金田一勝定関連の資料を中心に博物館活動の根幹である資料収集・調査研究の成果を幅広く公表します。</p>

いわて自然史展示室

「いわて自然史展示室」では、地質・生物など自然史系の資料を中心に以下の10のテーマで展示しています。

- 1 大地の中の小さな輝き
- 2 地球史の中の岩手の自然
- 3 海にもどって大進化
- 4 海の哺乳類
- 5 空に向かって大進化
- 6 水辺の生きもの
- 7 日本のキツツキと希少な鳥獣
- 8 早池峰山の自然
- 9 大空の覇者ワシ・タカの世界
- 10 写真でみる岩手の自然
- 11 東日本大震災と被災文化財等救援活動



総合展示室

- 1 県土の誕生 [地質分野]
- 2 いわての夜明け [考古分野]
- 3 いわての歩み [歴史分野]
- 4 庶民の暮らし [民俗分野]
- 5 いわての今 [現勢・生物分野]



いわての文化史展示室

岩手の人びとの生活に密着した資料を三つの部門(考古・歴史・民俗)で構成しています。



特別展示室

特別展示室では、ある一定のテーマに基づいて一定期間実施する特別展示をしています。



体験学習室

古くから人々が生活のなかで使用してきた道具などを展示し、実際の体験を通して昔の生活の工夫や知恵を学習できます。

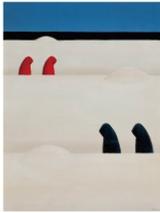


屋外展示

火成岩、変成岩、堆積岩50種を配置



岩手県立美術館 展覧会／年間スケジュール

企画展		コレクション展	
2021年	4月		
	5月	 <p>深堀隆介展「金魚鉢、地球鉢」 4月24日(土)～6月13日(日) 透明樹脂にアクリル絵具で金魚を描く斬新な手法で注目を集める現代美術家、深堀隆介の作品約300点をご紹介します。 《百濟》</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第 1 期</div> <p>4月30日(金)～7月18日(日) 没後20年を迎える松田松雄の画業をたどります。</p>  <p>松田松雄《風景（連れ）》</p>
	6月		
	7月	 <p>足立美術館展 横山大観と近代日本画の名手たち 6月26日(土)～8月1日(日) 島根県安来市の足立美術館が所蔵する近代日本画のコレクションから、横山大観の優品をはじめとする選りすぐりの57点を展示します。 横山大観《無我》 足立美術館蔵</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第 2 期</div> <p>7月23日(金・祝)～10月17日(日) 線や形、色彩などを楽しむ抽象表現の作品を特集します。</p>  <p>細川憲一《ホウキギ》</p>
	8月		
	9月	 <p>華麗なるベルエポック フランス・モダン・ポスター展 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館コレクション 8月14日(土)～10月3日(日) 近代デザインの始まりを迎えたフランス、ベル・エポック期におけるポスターの代表作約150点を、4部に分けてご案内します。 モーリス・ドニ 《「ラ・デページュ」紙》</p>	
	10月		
	11月	 <p>本城直季 (un)real utopia 10月16日(土)～11月28日(日) 人物や風景をミニチュアのように撮影する独特の表現で知られる写真家、本城直季。岩手をテーマにした新作など約150点を展示します。 《small planet/Tokyo, Japan/2005》</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第 3 期</div> <p>10月23日(土)～1月23日(日) 令和2年度の新収蔵作品を公開します。</p>  <p>深澤省三 《日独（アンコールトム）》</p>
	12月		
2022年	1月	 <p>開館20周年記念 菅木志雄展 《もの》の存在と《場》の永遠 12月18日(土)～2月20日(日) 盛岡市出身で日本現代美術を代表する作家、菅木志雄。半世紀以上に渡る彼の仕事を様々な手法の作品を約100点により通覧します。 《散立》岩手県立美術館蔵</p>	
	2月		
	3月	 <p>アートフェスタいわて2021 一岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展 十岩手県美術選奨受賞者作品展一 3月5日(土)～3月21日(月・祝) 2021年秋の岩手芸術祭美術展の受賞作品など約100点を展示。併せて令和元年度岩手県選奨受賞者の作品もご覧ください。 ロゴデザイン：杉本吉武</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">第 4 期</div> <p>1月29日(土)～4月24日(日) 岩手と東京を拠点とした美術団体、北斗会の活動をご紹介します。 堀江尚志《首》</p> 

県立野外活動センターの開所に向けた準備状況等について

東日本大震災津波により被災し、陸前高田市広田町内に移転復旧整備が完了した「岩手県立野外活動センター」について、4月末時点の準備状況等を報告します。

1 施設概要等

(1) 施設概要

野外活動センターの災害復旧工事を行い、令和3年3月に以下の施設が完成しました。

施設	規模	概要
テニスコート	人工芝8面	砂詰人工芝 8面、夜間照明 10塔
運動広場	400mトラック	400mトラック、直線9コース・トラック8コース サッカーフィールド、105m×68m(1面)※ラグビー兼用 軟式野球場(2面)、走高跳、走幅跳等
キャンプ場	宿泊200名	100人テント泊可能なキャンプサイト×2、 各サイトにトイレ、シャワー、炊事場を備えた炊事棟設置、 ファイヤーサークル2箇所
管理・宿泊棟	宿泊200名	宿泊200名、第1・第2研修室 各100名(間仕切り可能)、 創作室120名、食堂200名
体育館	バレーボール2面	バレーボール2面、バスケットボール2面、 バドミントン3面など

(2) 施設愛称等

施設愛称等の公募を行い、以下の内容に決定しました。

区分	決定内容	決定作品の応募者	応募状況
施設愛称	ひろたハマラインパーク	小松 敬一 様 (陸前高田市・公務員)	応募作品数 233 作品 応募者数 223 人
シンボル マーク		伊藤 勝則 様 (一関市・デザイナー)	応募作品数 263 作品 応募者数 258 人
イメージ キャラクター	 はまピー	佐々木 純太郎 様 (大船渡市・デザイナー)	応募作品数 221 作品 応募者数 204 人

2 今年度の開所等に向けたスケジュール

令和3年4月1日(木) 遊具広場の供用開始

令和3年5月1日(土) 屋外運動施設(運動広場及びテニスコート)の供用開始

令和3年5月11日(火) 復興関連施設見学ツアー(対象:各種学校の指導者、先着30名)

東日本大震災津波伝承館、震災遺構等の見学や活動の紹介を実施

令和3年5月14日(金) 内覧会実施(対象:県民一般、人数:午前・午後、各回先着50名)

施設見学やプログラム紹介を実施

令和3年7月1日(木) 全施設(宿泊含む)の供用開始(予定)

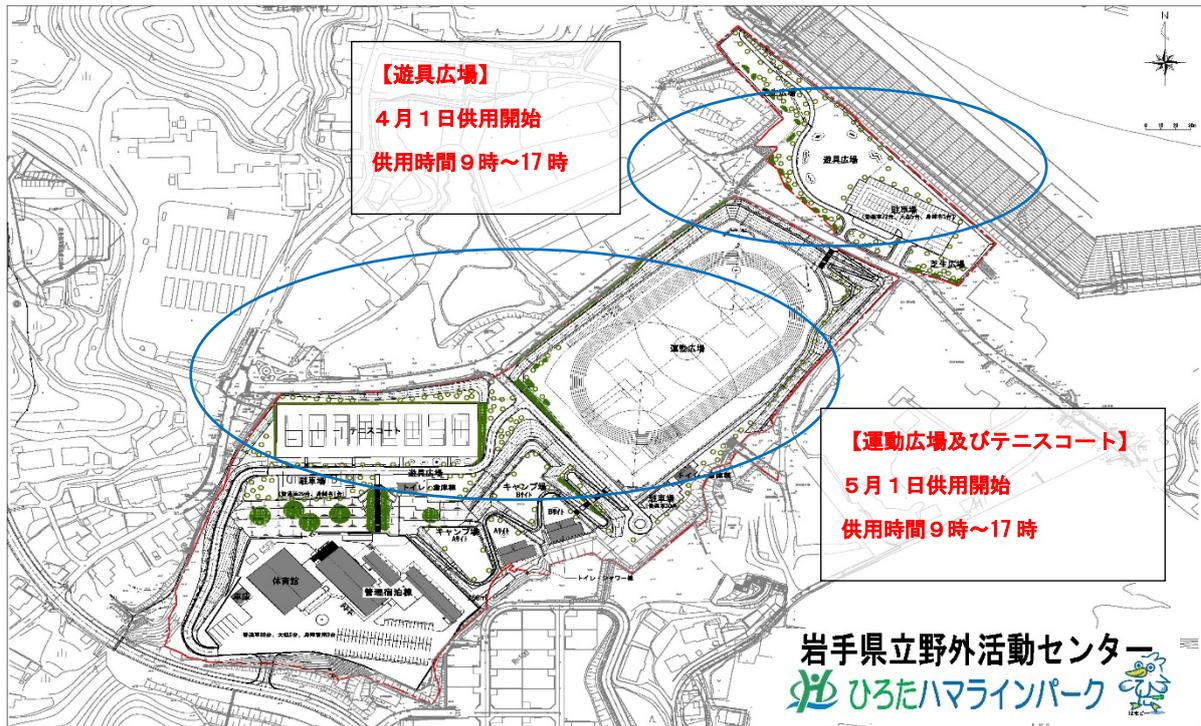
令和3年7月11日(日) 開所式(予定)

3 利用申込状況

- (1) テニスコート (令和3年4月23日からの5.6月申込受付分)
5団体、257名の利用予定
- (2) 学校研修等 (令和3年5月1日現在の事前申込受付分)

学校種	学校数	人数
小学校	16校	460人
中学校	9校	369人
高等学校	1校	80人
合計	28校	909人

4 施設の供用時期



5 開催予定事業

No.	事業名	期日	対象者	参加者
1	復興関連施設 見学ツアー	① 5/11(火) ② 11/9(火)	団体指導者教職員等	各回 30人
2	合同事前研修会	① 6/8(火) ② 6/18(金) ③ 7/27(火)	利用団体指導者	各回 30人
3	開所式	7/11(日)	県民一般	150人
4	野活キッズクラブ	①7/10(土)~11(日) ②9/25(土)~26(日) ③11/20(土)~21(日) ④2/6(土)~7(日)	小学5年~中学1年	各回 30人
5	ボランティアスタッフ養成講座	7/10(土)~11(日)	高校1年~大学生	20人
6	ファミリーキャンプ in 広田	8/10(火)~11(水)	小学生以上の子ども とその保護者	10組
7	三陸探検隊 (防災教室)	10/16(土)~17(日)	小学生とその家族	30人
8	スポーツキッズ	①1/15(土) ②1/29(土) ③2/12(土) ④2/26(土)	小学5年~小学6年	各回 25人